

授業科目名	人間教育学ゼミナール（応用）(2100310)		
時間割名	人間教育学ゼミナール（応用）(15108)		
時間割担当	金山憲正		
実施期	通年	単位数	4 必修 選択
曜日・時限	月・5		

授業の目標・概要

人間教育学として、人間教育学ゼミナール（基礎）で学習したことをさらに深めることを主なねらいとします。

本ゼミナールでは前学年で取り組んできた診断的評価の研究を踏まえてICTを活用した効果的な授業づくりについて探究していきます。

学習の到達目標

各学年の指導内容についてICTの活用が効果的な指導に結びつくと考えられる単元を明らかにし、具体的な展開を想定した学習指導案を作成すると共にICT機器の活用法と使用する教材の作成法も学ぶ。

授業方法・形式

少人数でのグループディスカッションや協働作業を主として行います。その他、指導法や児童理解について学ぶため教育現場へ出かけて授業参観の機会もできるだけ設けるようにします。

授業計画

前期

- 第1回 研究テーマと研究の進め方の確認
- 第2回～第5回 ICTの活用が効果を発揮する単元（内容）を整理
- 第6回～第9回 ICT機器の選択と活用法の検討
- 第10回～第14回 ICT教材の作成
- 第15回 前期のまとめと後期の研究計画

後期

- 第1回 指導案作成の単元（内容）の決定
- 第2回～第5回 プレゼン・アニメーションを用いた教材作り
- 第6回～第8回 WEBを用いた教材作りと授業でのタブレットの用い方
- 第9回～第10回 望ましい指導を目指した指導案作成
- 第11回 実践授業を行う
- 第12回 実践授業の結果について分析
- 第13回 実践授業記録を作成
- 第14回 改善指導案の作成
- 第15回 1年間のまとめ

成績評価の基準

学術的な考え方をより深めるためのICTの用い方を各指導内容ごとに検討を加え、主体的な解決活動が展開するよう工夫をほどこした学習指導案を作成し、実践を通して検証することができる。

などを総合的に判断して評価する。

準備学習・復習及び授

その都度提示します。

履修上のアドバイス及

ICTを効果的に活用するためには指導者（教師）がICT機器の操作は勿論のこと、ICT機器の持つ特徴や用いると効果的な場についての十分な理解が必要不可欠であることを捉えて欲しい。

教材・教科書

その都度紹介します。

参考書

その都度紹介します。